



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月9日

上場取引所 東

上場会社名 森永製菓株式会社

コード番号 2201 URL <http://www.morinaga.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 新井 徹

問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション部長

(氏名) 杉浦 俊明

TEL 03-3456-0117

四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	135,202	9.1	4,874	41.4	5,248	37.2	3,349	△57.4
26年3月期第3四半期	123,906	7.2	3,447	69.9	3,824	71.4	7,860	633.6

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 5,981百万円 (△35.7%) 26年3月期第3四半期 9,303百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	12.87	—
26年3月期第3四半期	30.19	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	151,793	65,471	41.3
26年3月期	144,441	62,594	41.5

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 62,682百万円 26年3月期 59,947百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	177,700	8.0	4,300	11.4	4,700	5.7	2,800	△65.4	10.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期3Q	270,948,848 株	26年3月期	270,948,848 株
27年3月期3Q	10,640,296 株	26年3月期	10,602,220 株
27年3月期3Q	260,327,903 株	26年3月期3Q	260,380,832 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、適正な情報に基づき作成したものでありますが、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

○ 添付資料の目次

1.	当四半期決算に関する定性的情報	2
	(1) 経営成績に関する説明	2
	(2) 財政状態に関する説明	4
	(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2.	サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
	(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
	(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
	(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3.	四半期連結財務諸表	5
	(1) 四半期連結貸借対照表	5
	(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
	四半期連結損益計算書	
	第3四半期連結累計期間	7
	四半期連結包括利益計算書	
	第3四半期連結累計期間	8
	(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
	(継続企業の前提に関する注記)	9
	(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
	(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績は次のとおりです。

売上高は、国内の菓子食品部門及び冷菓部門が好調に推移し、海外では森永キノインドネシア(株)が連結対象になったことに加え、米国でも売上を順調に伸ばしたことで、主力の食料品製造事業が伸長し、全体では1,352億2百万円と前年同期実績に比べ112億9千6百万円(9.1%)の増収となりました。

損益は、原材料価格の高騰等による売上原価率の上昇を売上高の増収により吸収し、営業利益は前年同期実績に比べ14億2千7百万円(41.4%)増益の48億7千4百万円、経常利益も前年同期実績に比べ14億2千4百万円(37.2%)増益の52億4千8百万円となりました。四半期純利益につきましては、前第3四半期連結累計期間にて固定資産売却益89億9千万円を計上したことにより、前年同期実績に比べ45億1千1百万円(57.4%)減益の33億4千9百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお第1四半期連結会計期間より、食料品製造事業の菓子、食品部門を統合いたしました。

当第3四半期連結累計期間の比較、分析は、統合後の区分に基づいております。

<食料品製造事業>

菓子食品部門

国内では、主力ブランドの「チョコボール」は、素材を厳選し大人をターゲットにした「大人に贅沢チョコボール」が牽引したことで好調に推移し、大きく伸長しました。また、「ダース」「森永ビスケット」「ハイチュウ」も好調に推移しました。「ミルクココア」は需要期に向け、秋以降広告等のPR効果もあり伸長したものの、前年同期実績を下回りました。「おっとっと」「ミルクキャラメル」も前年同期実績を下回りましたが、主力7ブランド全体では前年同期実績を上回りました。

その他のブランドでは、高付加価値の商品展開が好評を博した「ベイク」が大きく伸長し、「カレ・ド・ショコラ」も引き続き好調に推移しました。

海外では、米国の「ハイチュウ」が好調に推移したうえに、森永キノインドネシア(株)が連結対象となったこともあり前年同期実績を大きく上回りました。

これらの結果、菓子食品部門全体の売上高は844億8千1百万円と前年同期実績に比べ110億1百万円(15.0%)増となりました。

冷菓部門

主力ブランドの「チョコモナカジャンボ」及び「バニラモナカジャンボ」のジャンボグループは、冷夏による影響を受けたものの、広告・販促の効果等により前年同期実績を上回りました。

また、「ビスケットサンド」や「パリパリバー」「パキシエル」等のマルチパック商品も好調に推移し、冷菓部門全体の売上高は252億6千5百万円と前年同期実績に比べ8億5千9百万円

(3.5%)増となりました。

健康部門

主力ブランドの「ウイダー i nゼリー」は、サポートアスリート錦織圭選手の活躍に合わせ発売した「ウイダー i nゼリー エネルギー<KEIスペシャル>」が売上に寄与したこともあって、全体的には回復基調にあるものの、第2四半期連結累計期間までの減収を挽回するには至りませんでした。「天使の健康」シリーズの通販事業は「おいしいコラーゲンドリンク」が前年同期実績並みに推移しましたが、「パセノール™」関連商品が前年同期実績を上回り、通販事業全体では前年同期実績を上回りました。これらの結果、健康部門全体の売上高は171億8千7百万円と前年同期実績に比べ5億2千5百万円(3.0%)減となりました。

[主力商品前年同期比(単位: %)]

菓子食品部門		冷凍部門	
チョコボール	124	ジャンボグループ	102
ダース	116	ビスケットサンド	141
森永ビスケット	115	マルチパック	118
ハイチュウ	108	健康部門	
ミルクココア	97	ウイダー i nゼリー	92
おととと	94	おいしいコラーゲンドリンク	100
ミルクキャラメル	92	パセノール™関連商品	257
菓子食品主力品計	108		
ベイク	126		
カレ・ド・ショコラ	117		

※表内の数値は国内売上高にて算出

これらの結果、<食料品製造事業>の売上高は1,269億3千4百万円と前年同期実績に比べ9.8%増となりました。セグメント利益は44億9千1百万円と前年同期実績に比べ15億8千6百万円の増益となりました。

<食料卸売事業>

売上高は、57億8千3百万円と前年同期実績に比べ2.0%増となりました。セグメント利益は3億9千2百万円と前年同期実績に比べて2千8百万円の減益となりました。

<不動産及びサービス事業>

売上高は、ゴルフ事業が前年同期実績並みであったものの、不動産事業が前年同期実績を下回り、事業全体で20億5千1百万円と前年同期実績に比べ6.8%減となりました。セグメント利益は6億7百万円と前年同期実績に比べ4百万円の減益となりました。

<その他>

売上高4億3千2百万円、セグメント利益7千3百万円であります。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産の残高は1,517億9千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ73億5千2百万円増加しております。主な要因は流動資産の現金及び預金、受取手形及び売掛金、投資その他の資産の投資有価証券が増加したことなどによるものであります。

負債の残高は863億2千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ44億7千4百万円増加しております。主な要因は、流動負債の支払手形及び買掛金、固定負債の退職給付に係る負債が増加したことなどによるものであります。

純資産の残高は654億7千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ28億7千7百万円増加しております。主な要因は、その他有価証券評価差額金が増加したことなどによるものであります。

以上の結果、自己資本比率は0.2ポイント低下し41.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成26年11月5日発表の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更し、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る資産が1,433百万円減少、退職給付に係る負債が910百万円増加し、利益剰余金が1,533百万円減少しております。なお、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,765	6,733
受取手形及び売掛金	18,172	24,853
商品及び製品	8,719	9,022
仕掛品	423	347
原材料及び貯蔵品	5,199	5,353
繰延税金資産	1,786	1,617
その他	4,365	4,278
貸倒引当金	△11	△12
流動資産合計	43,420	52,194
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	23,917	23,217
機械装置及び運搬具（純額）	20,231	17,842
土地	30,645	30,706
その他（純額）	1,607	1,619
有形固定資産合計	76,402	73,386
無形固定資産		
のれん	2,332	2,250
その他	548	521
無形固定資産合計	2,881	2,771
投資その他の資産		
投資有価証券	18,147	21,023
退職給付に係る資産	1,433	374
繰延税金資産	784	667
その他	1,428	1,424
貸倒引当金	△57	△49
投資その他の資産合計	21,737	23,441
固定資産合計	101,021	99,598
資産合計	144,441	151,793

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,151	20,589
短期借入金	345	664
未払金	8,590	8,653
未払法人税等	1,451	835
賞与引当金	1,788	920
その他	7,643	9,063
流動負債合計	36,971	40,726
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	15,854	15,843
繰延税金負債	5,099	4,832
役員退職慰労引当金	95	95
退職給付に係る負債	6,513	7,591
資産除去債務	130	132
受入敷金保証金	6,437	6,344
その他	744	755
固定負債合計	44,875	45,594
負債合計	81,847	86,321
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,612	18,612
資本剰余金	17,186	17,186
利益剰余金	22,369	22,623
自己株式	△2,535	△2,544
株主資本合計	55,632	55,878
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,753	6,650
繰延ヘッジ損益	46	74
為替換算調整勘定	333	763
退職給付に係る調整累計額	△819	△684
その他の包括利益累計額合計	4,314	6,803
少数株主持分	2,646	2,789
純資産合計	62,594	65,471
負債純資産合計	144,441	151,793

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	123,906	135,202
売上原価	64,565	73,119
売上総利益	59,341	62,082
販売費及び一般管理費	55,893	57,207
営業利益	3,447	4,874
営業外収益		
受取利息	5	25
受取配当金	294	313
持分法による投資利益	13	—
その他	411	312
営業外収益合計	723	651
営業外費用		
支払利息	139	125
持分法による投資損失	—	24
その他	207	126
営業外費用合計	346	277
経常利益	3,824	5,248
特別利益		
固定資産売却益	8,990	19
投資有価証券売却益	313	—
特別利益合計	9,304	19
特別損失		
固定資産除売却損	353	151
減損損失	218	—
その他	148	—
特別損失合計	720	151
税金等調整前四半期純利益	12,407	5,116
法人税、住民税及び事業税	2,088	1,797
法人税等調整額	2,428	△57
法人税等合計	4,517	1,740
少数株主損益調整前四半期純利益	7,890	3,376
少数株主利益	30	26
四半期純利益	7,860	3,349

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	7,890	3,376
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	948	1,881
繰延ヘッジ損益	△4	27
為替換算調整勘定	442	357
退職給付に係る調整額	—	134
持分法適用会社に対する持分相当額	26	203
その他の包括利益合計	1,412	2,605
四半期包括利益	9,303	5,981
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,196	5,839
少数株主に係る四半期包括利益	106	142

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)
該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自平成25年4月1日至平成25年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	食料品 製造	食料卸売	不動産及び サービス	計				
売上高								
外部顧客に対する売上高	115,599	5,667	2,200	123,467	439	123,906	—	123,906
セグメント間の内部売上高	773	550	470	1,794	925	2,719	△2,719	—
計	116,373	6,217	2,671	125,262	1,364	126,626	△2,719	123,906
セグメント利益	2,905	420	611	3,936	149	4,086	△638	3,447

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、研究用試薬の製造販売他であります。

2 セグメント利益の調整額 △638百万円には、セグメント間取引消去 5百万円、各報告セグメントに配分していない
全社費用 △572百万円、のれん償却額 △73百万円などが含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰
属しない一般管理費及び新規事業開発費等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位 百万円)

	食料品 製造	食料卸売	不動産及び サービス	その他	調整額	合計
減損損失	218	—	—	—	—	218

(のれんの金額の重要な変動)

(単位 百万円)

	食料品 製造 (注)	食料卸売	不動産及び サービス	その他	調整額	合計
のれんの増加額	1,492	—	—	—	—	1,492

II 当第3四半期連結累計期間（自平成26年4月1日至平成26年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	食料品 製造	食料卸売	不動産及び サービス	計				
売上高								
外部顧客に対する売上高	126,934	5,783	2,051	134,769	432	135,202	—	135,202
セグメント間の内部売上高	776	538	445	1,759	924	2,683	△2,683	—
計	127,711	6,321	2,496	136,529	1,356	137,885	△2,683	135,202
セグメント利益	4,491	392	607	5,491	73	5,565	△690	4,874

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、研究用試薬の製造販売他であります。

2 セグメント利益の調整額 △690百万円には、セグメント間取引消去 24百万円、各報告セグメントに配分していない
全社費用 △552百万円、のれん償却額 △150百万円などが含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰
属しない一般管理費及び新規事業開発費等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。